

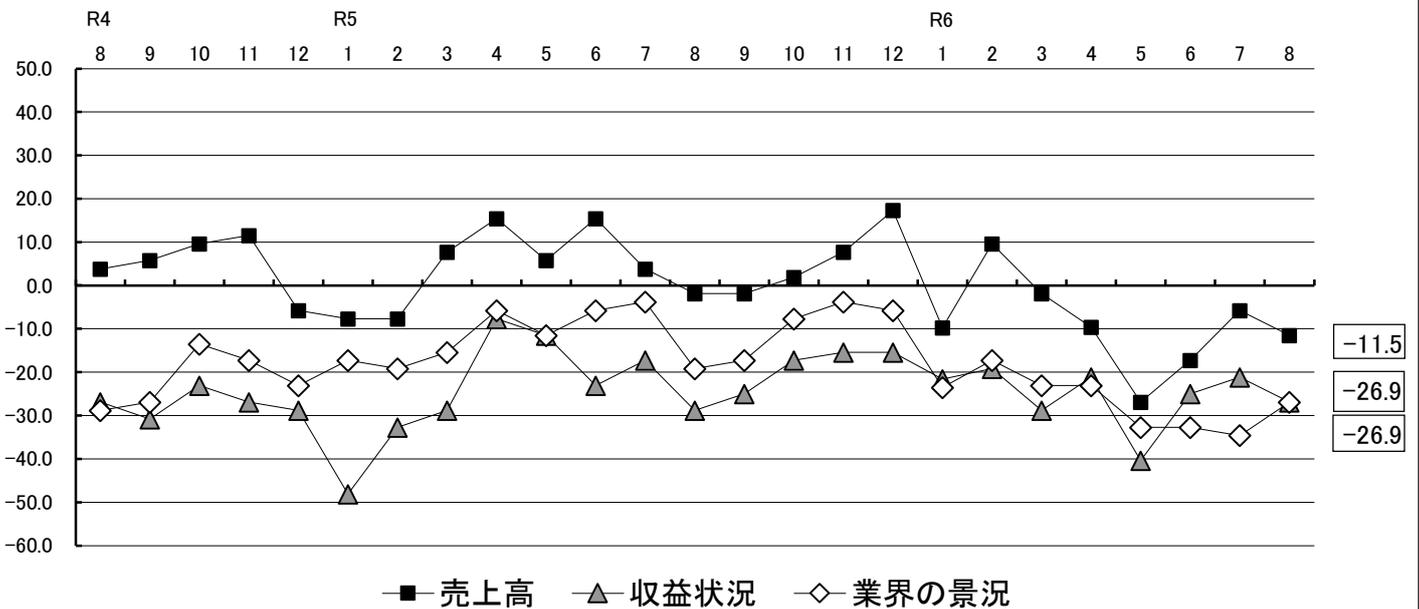
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和6年8月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 8月の前年同月比DI値は、前月と比べて、主要3指標では「業界の景況」で上昇がみられた。一方、「売上高」「収益状況」は、低下となった。その他の指標では、「在庫数量」「取引条件」「設備操業度」「雇用人員」の4指標が上昇し、「販売価格」「資金繰り」の2指標が低下した。
- 原材料価格、エネルギー価格の高騰に加え、人件費の上昇により、収益の確保に苦戦している。また、夏休みシーズンであったが、猛暑や台風などの気候の影響を受け客足が伸び悩む結果となった。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



| 主要3項目 | 県内    |      | 全国    |      |
|-------|-------|------|-------|------|
|       | DI値   | 前月比  | DI値   | 前月比  |
| 売上高   | -11.5 | -5.8 | -11.7 | 0.1  |
| 収益状況  | -26.9 | -5.8 | -25.6 | -0.2 |
| 業界の景況 | -26.9 | 7.7  | -26.8 | 0.2  |

### 売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より5.8ポイント低下し-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント上昇し、-11.7ポイントとなった。

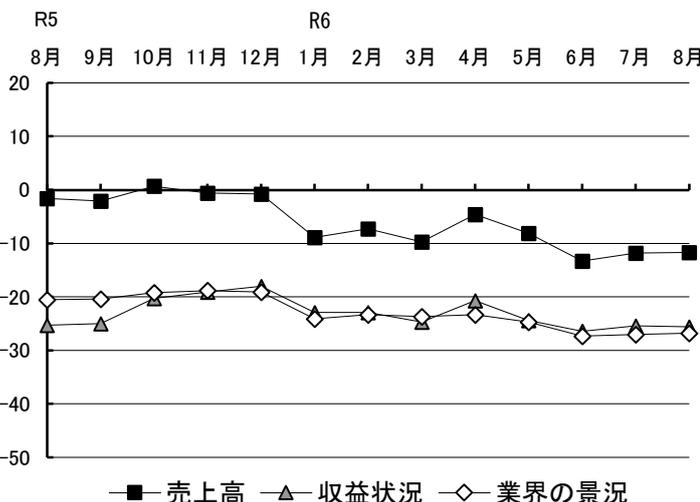
### 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.8ポイント低下し-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より0.2ポイント低下し、-25.6ポイントとなった。

### 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント上昇し-26.9ポイントであった。全国においては、前月より0.2ポイント上昇し、-26.8ポイントとなった。

全国集計結果の推移



## -概況-

8月の前年同月比DI値は、図表2のとおり前月と比べ5指標が上昇し、4指標が低下となった。主要3指標では「売上高」及び「収益状況」は5.8ポイント低下、「業界の景況」は7.7ポイント上昇となった。

製造業では、「食料品」で県内の名産品である餃子関連や猛暑によるめん類の需要増加により前月よりも回復となった。一方、「鉄鋼・金属」「一般機器」においては、自動車部品の減産、さらに仕入価格の高騰や賃金上昇への対応が依然として収益を圧迫している。また、原材料価格等については今後の為替相場の影響による更なる変動も心配されている。

非製造業では、夏休みシーズンであるが、猛暑に加え台風の影響を受けて人流が減少したことで消費が落ち込み、「売上」「収益」の状況は前月より悪化した。また、「卸売業」「小売業」では、光熱費の上昇に加え、原材料の高騰による収益悪化に耐え切れず価格転嫁したことで消費が減少するなど苦戦を強いられている。

なお、製造業及び非製造業ともに前月より景況感は上昇したものの、原材料やエネルギー価格の高騰、さらに人手不足の問題に加え、最低賃金の引き上げに伴う賃上げの原資確保に多くの業種で苦慮しており、今後の経営基盤への影響を懸念する声も多くみられた。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

|             | 売上           | 在庫           | 価格          | 条件          | 収益           | 資金           | 設備           | 雇用           | 景況           |
|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 食料品製造       | 100.0        | -25.0        | 25.0        | -25.0       | 0.0          | -25.0        | 25.0         | 0.0          | -25.0        |
| 繊維・同製品      | 50.0         | 0.0          | 75.0        | 25.0        | 0.0          | 25.0         | 25.0         | 0.0          | 0.0          |
| 木材・木製品      | 0.0          | -25.0        | -50.0       | 0.0         | -50.0        | 0.0          | 0.0          | 0.0          | -75.0        |
| 印刷          | 0.0          | 0.0          | 0.0         | 0.0         | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 0.0          |
| 窯業・土石       | 0.0          | 0.0          | 25.0        | 0.0         | 25.0         | 0.0          | 0.0          | 0.0          | 25.0         |
| 鉄鋼・金属       | -75.0        | 0.0          | 50.0        | -25.0       | -50.0        | -25.0        | -25.0        | 0.0          | -75.0        |
| 一般機器        | 0.0          | 50.0         | 50.0        | 0.0         | -25.0        | -25.0        | -50.0        | 25.0         | -25.0        |
| <b>製造業</b>  | <b>12.0</b>  | <b>0.0</b>   | <b>28.0</b> | <b>-4.0</b> | <b>-16.0</b> | <b>-8.0</b>  | <b>-4.0</b>  | <b>4.0</b>   | <b>-28.0</b> |
| 卸売業         | -33.3        | 0.0          | 0.0         | 0.0         | -33.3        | -33.3        |              | -33.3        | -33.3        |
| 小売業         | -85.7        | -14.3        | 28.6        | -28.6       | -57.1        | -42.9        |              | -14.3        | -57.1        |
| サービス業       | -33.3        |              | 50.0        | -16.7       | -16.7        | 0.0          |              | 16.7         | -16.7        |
| 建設業         | 0.0          |              | 20.0        | 0.0         | -40.0        | 0.0          |              | -20.0        | -40.0        |
| 運輸業         | 0.0          |              | 0.0         | 25.0        | 25.0         | 0.0          |              | -25.0        | 25.0         |
| その他         | 0.0          |              | 0.0         | 0.0         | 0.0          | 0.0          |              | 0.0          | 0.0          |
| <b>非製造業</b> | <b>-33.3</b> | <b>-10.0</b> | <b>14.8</b> | <b>-7.4</b> | <b>-37.0</b> | <b>-25.9</b> | <b>-11.1</b> | <b>-25.9</b> |              |
| <b>全体</b>   | <b>-11.5</b> | <b>-2.9</b>  | <b>21.2</b> | <b>-5.8</b> | <b>-26.9</b> | <b>-17.3</b> | <b>-4.0</b>  | <b>-3.8</b>  | <b>-26.9</b> |

図表2 【指標別DI値の推移】

|       | 5年    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 6年    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 前月比  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|       | 8月    |       |       |       |       | 1月    |       |       |       |       |       |       |       |      |
| 売上高   | -1.9  | -1.9  | 1.9   | 7.7   | 17.3  | -9.8  | 9.6   | -1.9  | -9.6  | -26.9 | -17.3 | -5.8  | -11.5 | -5.8 |
| 在庫数量  | -11.4 | 2.9   | -17.1 | -17.1 | -14.3 | -5.9  | -8.6  | -8.6  | -14.3 | -2.9  | -2.9  | -5.7  | -2.9  | 2.9  |
| 販売価格  | 19.2  | 23.1  | 26.9  | 26.9  | 25.0  | 27.5  | 23.1  | 25.0  | 19.2  | 17.3  | 28.8  | 25.0  | 21.2  | -3.8 |
| 取引条件  | -11.5 | -11.5 | -3.8  | -3.8  | -1.9  | -5.9  | -7.7  | -5.8  | -7.7  | -11.5 | -15.4 | -9.6  | -5.8  | 3.8  |
| 収益状況  | -28.8 | -25.0 | -17.3 | -15.4 | -15.4 | 21.6  | -19.2 | -28.8 | -21.2 | -40.4 | -25.0 | -21.2 | -26.9 | -5.8 |
| 資金繰り  | -13.5 | -11.5 | -3.8  | -1.9  | -5.8  | -7.8  | -5.8  | -7.7  | -9.6  | -15.4 | -11.5 | -11.5 | -17.3 | -5.8 |
| 設備操業度 | -20.0 | 0.0   | 12.0  | -16.0 | -8.0  | -12.0 | -4.0  | -16.0 | 4.0   | -8.0  | -12.0 | -8.0  | -4.0  | 4.0  |
| 雇用人員  | -9.6  | -5.8  | 0.0   | 0.0   | -3.8  | -3.9  | -5.8  | -11.5 | 0.0   | -5.8  | -9.6  | -5.8  | -3.8  | 1.9  |
| 業界の景況 | -19.2 | -17.3 | -7.7  | -3.8  | -5.8  | -23.5 | -17.3 | -23.1 | -23.1 | -32.7 | -32.7 | -34.6 | -26.9 | 7.7  |

# 特記事項

## 情報連絡員報告（令和6年8月分）

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種<br>(産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等<br>(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 食料品      | 和洋菓子製造業               | 気候変動による、原材料の価格が心配である。                                                                                                                                                                                                                                                                |
|          | めん類製造業                | 県内の郡部は高齢化が進み、人口減少が進んでいる。また、お米不足の情報があり、代替品としての麺類の需要に期待したい。宇都宮地区では、餃子の人気上昇中で、餃子の皮の需要が急増している。その対応に嬉しい悲鳴が出ている。今年の暑さで、冷やし中華等も需要が増えて、生ラーメン類の需要が伸びた。また、県内及び宇都宮地区も同業者の高齢化、後継者不在により廃業準備軍が散見される。地域内の仕事は、地域内の業者で賄う事が、お客様に喜ばれると思うので、そういった業者同士で、助け合う動きが始まっている。これから我々の製麺業界は、ますます厳しさが増してくることが予想される。 |
| 繊維工業     | 縫製業                   | 年間継続商品の受注が確立しつつある。月単位の受注数量は月々波はあるが、継続商品の受注は大きな進歩。但し、店頭上代（販売価格）が上がらない限り底上げができないため利益の上昇は見込めない。※加工料UPが厳しい状況は変わらない。                                                                                                                                                                      |
|          | 絹・レース・繊維粗製品製造業        | 取引先担当者と来春シーズンの傾向について相談したところ、円安・物価高などの影響による節約志向が高まる中、消費者は長持ちし、様々な場面で活用できる多機能な服を好まれている。なので、シンプルで洗練されたデザインが人気を集め、オフィスでもカジュアルな場面でも着用できるアイテムが増加すると予想されている様子。レース関係は依然として厳しい状況が続くそうである。                                                                                                     |
| 木材・木製品   | 一般製材業                 | プレカット需要は若干上向いてきているが、住宅用木材の動きは鈍く、引き続き動向に注視していきたい。                                                                                                                                                                                                                                     |
|          | 木材・木製品製造業             | 住宅向け木材の荷動きは悪い。非住宅向けの物件の引き合いは増えている印象。国産材の価格は下げ止まっている。外国産材はものによって値上りも見られる。梱包向け木材は徐々に荷動きが出てきている。                                                                                                                                                                                        |
|          | 木材・木製品製造業             | 販売量、仕入量及び流通部門・製造部門とも変わらず。また、販売価格及び仕入価格についても流通部門・製造部門とも変わらず。                                                                                                                                                                                                                          |
| 印刷       | 印刷業                   | 8月は休日が多く需要減退期で引き合いは低調。業界は前年並み。                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 窯業・土石製品  | 石灰製造業                 | 鉄鋼向けは、昨年比で減少した。建材関係及び肥料関係は、昨年比で増加した。全体では、昨年比で減少した。                                                                                                                                                                                                                                   |
|          | 陶磁器・同関連製品製造業          | お盆休みが長かったため売上が下がるかと思ったが、近年は伸びていると思う。組合員外は伸びていないため組合員の売上順調。秋の陶器市の準備のためだと思う。原土の枯渇が問題になっている。                                                                                                                                                                                            |
| 鉄鋼・金属    | 金属製品製造業               | 極端に荷動きが悪化した。株価の暴落や為替相場の著しい変化が心配。自動車部品は減産傾向。足利市内の精密機械部品会社倒産や飲食業の廃業など経済悪化にある。経済団体などからの会員脱退が急増。理由は廃業や経費削減、メリットなしなど。お盆休み明けには社員の数名がコロナ感染にて休業。酷暑の次は、相次ぐ地震と雷雨、台風の連続で生産にも大打撃な8月であった。                                                                                                         |
|          | 金属製品製造業               | 主な問題点は、仕入価格の上昇、人材不足及び賃金の上昇。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 一般機器     | 一般機械器具製造業             | 前回同様、売上高減少及び収益状況が多少増加という組合員企業が多数を占めているが、不変とする企業や減少という企業も存在する。仕入れ資材の高騰傾向も引き続き存在している。気になる円の為替レートも小康状態であり気になるところであるが、これらの変動が仕入れ資材や諸経費等の影響等、懸念される場所である。また引き続き賃金アップ等の対応など、今回も経営基盤への影響の懸念ありとの報告がされている。あくまでも企業間格差がある。                                                                       |
|          | 一般機械器具製造業             | 酷暑の夏・稼働日減・不正発覚が製造業界でも起きている。全ての業種で停滞しているのが実情。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 卸売業      | 化粧品卸売業                | 商品の値上げは一巡した印象だが、商品に転嫁しにくいガソリン代、水道光熱費及び人件費の増加がジワジワと利益に悪影響を及ぼしている。                                                                                                                                                                                                                     |
|          | 各種商品卸売業               | すべての項目で不変とする企業が多く、業況等は前年同期に比べ微増するも不変とする企業が多い。                                                                                                                                                                                                                                        |
|          | 各種商品卸売業               | 業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。全体的に荷動きはあまり良くない。燃料価格は、高止まりが続いており、物価高騰と相まって、収益を圧迫している。輸入関連で円安の影響が大きく出ていて、コストが増加。従業員の人員確保が難しい。(募集をかけても集まりにくい。)賃金アップについても対応していく中で、原資の確保など課題も多い。                                                                                                                  |

|          |              |                                                                                                                                                               |
|----------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小売業      | 食肉小売業        | 働き方改革で残業が減少し、賃金の上昇・円安の影響で輸入食肉価格が高騰している。国産牛肉・豚肉も史上最高値が続いている。全般的に価格が上がって、消費が減少している。                                                                             |
|          | その他の小売業      | 昨年同月と単純に比較をすると、販売価格は上昇していますが、ランニングコスト・イニシャルコスト共に高いため、収益改善に至らず収益状況は悪化しています。人員は一時に比べれば定着し不足はない状況ですが、資格や経験がものをいう業界のため、若年層が業界全体で不足している傾向にあります。                    |
|          | 各種商品小売業      | 前月から3%～5%前後の減。低迷で景況の回復は見られず「低迷の8月期」。又、台風の影響やエネルギー価格の高騰などにより飲食店関係は原材料の高騰もあって価格高で客足が鈍り低迷。一般小売業も、夏休みシーズンで人出を期待したが、これも台風の影響で減少。台風上陸で、人流・消費減。                      |
|          | 各種商品小売業      | 年々、猛暑で外出控えにより8月は客数が伸び悩む傾向があるが、今年も同じような流れであった。加えて、7月の夏物セールが上振れした分、その反動によるものか、売上高に関しても厳しい結果となった。                                                                |
|          | 花・植木小売業      | お盆商戦。昨年度同様に高値安定。猛暑、光熱費上昇、仕入高騰を価格に転嫁したが、客数が思うように伸びず収益状況は昨年同様に厳しかった組合員多数。                                                                                       |
| サービス業    | 理容業          | 各店舗での売上高は、ここ最近大きな変動は見られないものの、資材や光熱費の価格高騰により痛手を受けている店舗も増え、資金繰りが苦しい現状である。                                                                                       |
|          | 旅館・ホテル       | 宿泊は高稼働で推移したがコロナ前とは月ごとの傾向が違ってきているように感じる。宴会は、新型コロナウイルス宿泊療養施設後の原状復帰作業中により90%ダウン。飲食店は、コロナ前と売上トレンドの傾向が変わってきているように感じる。週末は戻ってきた感じがあるが、物価高による利用控えの影響が飲食店には出ているように感じる。 |
|          | ビルメンテナンス業    | 日配品の販売数量の減少により、宅配関連の倉庫内作業の受注高が減少し、収益の悪化に繋がっている。                                                                                                               |
| 建設業      | 職別工事業        | 例年8月は受注状況は減少傾向にあり、今月も同様な結果が見られる。業界の高齢化や若手の就労不足も顕著になってきている。収益面の悪化も依然続いている。                                                                                     |
| 運輸業      | 貨物自動車運送業     | 物価上昇に伴うコスト増や個人消費の落ち込みが続くものの、生産に持ち直しの動きがみられ荷動きも回復基調に転じている。未だに続く運転手不足はなかなか改善できないが、輸送コスト増のため小規模の運送会社が求める値上げを、物流コストを抑えていた荷主側が受け入れ始め改善傾向にある。                       |
|          | 貨物軽自動車運送業    | 台風の影響があり、配車が追いつかない日もあった。例年の8月と比べても、お盆休みの一週間で仕事量が落ち込む中、それぞれの地域で組合員が忙しく動いていた。台風災害、被害が発生すると小回りの利く当組合は、いやでも忙しくなる。                                                 |
|          | 一般乗用旅客自動車運送業 | お盆で会社等休みで各駅、特にJR宇都宮駅ではタクシーにおいては毎年のことながら動きは良かった。同様に街中の人出はあったがお盆明けは毎年のごとで特に夜間の人出が減り最終週は台風の影響で閑散としていた。                                                           |
| その他の非製造業 | 大谷石採石業       | お盆休みが長かったこともあり、観光客が多く道の混雑があった。                                                                                                                                |